

## 敬老会補助金を拡充し、 総合交付金に統合

鶴岡市は、地域づくり活動や敬老会など、市民要望の強い事業の拡充に定めるため、新年度に「地域づくり交付金」や「総合交付金」などを見直します。

鶴岡地域の市街地における行政連絡業務委託料を新設し、従来の郊外地行政連絡業務委託料は縮小します。

シヨン、防災資機材の整備などの活用を進めます。敬老会は地区開催が可能になるよう補助金が拡充されます。

### 職員人件費を増額

改正内容は、広域コミュニティ組織へのコミュニティセンター等管理運営委託料については、事務職員や管理員の人件費を重点的に見直し増額を図ります。

各町内会や住民会等の「単位自治組織」については、「住民自治組織総合交付金」を拡充します。

「地域づくり加算」を創設し、衛生業務加算と自主防災組織育成事業加算に、民生費の敬老事業等補助金を統合、拡充します。

### LED防犯灯

防犯灯加算の見直しでは、LED10ワットまで1灯当たり500円が700円に、10〜20ワットは1灯当たり1100円が1300円に増額されます。

基金を財源に「地域まちづくり未来事業」に本格着手し、合併で衰退してきた地域の活性化に再度チャレンジです。

地域づくり交付金については、地域で自由に使えるようにルールを見直します。

使途や制限は設けず、各組織の裁量で敬老会の開催や、ごみステーション

### 飲酒

其の三

痛飲長嗟俗事牽  
銜杯対客醉新年  
近来数座忘归宴  
愁破方知酒有権

おいに酒を飲み世間のわずらわしい雑事にひきつけられている自分になげいている。お客と向かいあって酒を飲み、新年の酒に酔うだろう。最近、しばしば帰ることを酒の席で忘れることがある。お酒には、心配や悲しみを取り除く力があることに、やっと気がついた。

飲酒 酒を飲む。痛飲 大酒。嗟 げげ。俗事 世間のわずらわしい雑事。牽 引く。ひきつけられる。銜杯 酒を飲む。対客 客と向かい合う。数 たびたび。宴 飲み会。破 消える。愁 心配や悲しみ。方知 初めて知る。権 力。

### 飲酒

其の三

痛飲して長く嗟し俗事に牽がることを  
杯を銜む客に對す新年に酔わん  
近来 数 帰ることを忘れる宴に坐し  
愁い破れて方に知る酒に権有るを

### 城貞（藤の花）

## 「うたごえ喫茶」大盛況

昨年12月に長沼温泉 ぼっぼの湯で初めて開かれた「うたごえ喫茶」に50人超が参加。今年2月に開かれた2回目には70人超に増え、会場が溢れんばかりに。

出演・伴奏は小野寺裕さんがリーダーの「ぼっぼ」で、1970年代のフォークソングを中心に歌い、懐かしい旋律に心が洗われました。



第2回「うたごえ喫茶inぼっぼの湯」2019.02.09



第1回「うたごえ喫茶inぼっぼの湯」2018.12.08



# 米軍基地の傍らで 暮らした日々

新町 齋藤留治

今月の24日には沖縄米軍の辺野古移設に対して県民投票が行われる。

強権、欺瞞政治を重ねるアベ晋三政権にNOを突き付けて欲しい。

日本の民間空港で最も危険な空港と言われる那覇空港や、多くの軍用地を抱える沖縄の人達の願いをこれほど返りみない政権を私は知らない。

沖縄県民の命より祖父岸信介が生き延びた恩返しをアメリカにしようとしているのだろうか。

軍用基地がいかに周辺住民にとって耐えられない事なのか、東京の米軍基地近くに住んだ事がある私は身を持って体験した。

爆音ばら撒き基地は東京の立川と横田基地、昼は戦闘機の訓練のため遠くに行ったのか音はそれほど気にもならなかったが、酷いのは夕方から夜10時頃にかけて。

離着陸とエンジン点検音は止むことなく、猛暑の夏でも窓は開けられなかった。

エンジンから出る空振動で窓は時々ガタゴト、毎日雷様の下で暮らしているようなもの



であった。(立川基地の返還とエアコンの普及で今は違ふと思ふが。)

引越に要する費用どころではないので早々に他所に逃げた。

逃げた所は練馬区の一画、学校から紹介してもらった下宿を見に行ったら今度も基地の直ぐ脇。

またか、と思って金網の中を覗いたら、そこは広大な緑の芝生に覆われた別天地で、金網の中は日本政府の思いやり予算が沢山詰まった所だった。

家族が暮らす小綺麗なハウスと、のどかな太陽が輝く良き場所、私も時間がある時はボール遊び等の為に金網の隙間からちよつとだけ中に入れた。



どなたか「アベ晋三氏は外交が得意」と語っていた人がいたが、基地の再編すら要求しない首相を何故そう言うのか私には理解出来ない。

夫婦で手を繋いで世界を飛び回るより、近隣諸国からの信頼を得る事に心血を注ぐべきではないか。

先月も国会を遅らせてまでロシアに何の為に行ったのか疑問だったし、このままでは「無駄金使い首相」と後世に伝えられるのではないか、と私には思える。

## だまされては遺憾！ アメリカが強引に進めた 片面講和①

青山崇

こうしたなかで講和問題が浮上する。論議は冷戦の東西対立から、全面講和(全連英日国と講和)か単独(片面)講和(西側諸国のみと講和)かを争点として進んだ。

吉田内閣や自由党(1950年3月、民自党と民主党連立派が合意)は、全面講和は不可能で、それを主張するのはソ連や共産党を利用するものであると批判した。

一方全面講和論は幅

都留重人ら中堅の学者らで大きな影響を与えた。

片面講和とそれに連動する日米安保条約の内容に反対する「全面講和・中立不可侵・軍事基地反対」を主張する全面講和運動が全国に広まった。

当時学生であった私も運動に加わった。1951年9月、サンフランシスコで講和会議が開かれた。中国では中華人民共



### 芸能のつどい

9日市の中央公民館で邦楽邦舞合同公演第47回芸能のつどいが開かれた。日舞 謡曲 詩吟 琴 尺八 琵琶 が内容だ。謡曲は観世流(三和の方々数名も)と宝生流の二つと尺八は同じ錦古流だが、竹道会と竹友会があり、俺は竹友会だ。

▲主催は実行委員会だが市教育委員会も入っており、共催が芸術文化協会で荘内日報社が後援している。だから長く続いているのだろう。もうすぐ50回だ。▲しかし、悩みは新しい会員が増えないことなのだが、竹友会が指導している上郷の子どもたち3人が出演できた。この子たちは小学生で、学校終了後コミセンに集まる子ども達だ。宿題を終えての時間に吹いてみたい子供らが10人ちよつといるのだ。

和国が成立(1949年10月)し、中国のほぼ本土を統治し、中華民国は台湾に逃げ込んでいたのに、アメリカはこの政府を中国代表と主張したので中国は不参加になった。

日本の激しい植民地被害を受けた朝鮮・香港・シンガポールなどは招かず、インド・ビルマ(現ミャンマー)は、このことに反対で不参加であった。

▲県の補助事業で来年度も続くらしい。一年生に限らず手が小さいから穴を押えるのがむずかしい。だから6寸管を吹いているのだが、今年には民謡一つと唱歌6つの計7つだった。同じように出演したのは、上郷のほかのグループと由良の子ども達300人をこえる来場者があったとは、終わって反省会で司会者の弁。

▲隣席になったのは、琵琶語りでは名の知れた女性。俺と同じく鶴南通信の出。嫁いで子どもが大きくなつてからの勉強だとの事。姑さんが、やりたいことはなんでもやれと言う人だったので、高校も出たし琵琶も出来たんだと。亡き姑さんに感謝していた。向上心の旺盛な方で、今年に入り短歌を始めたという。

▲みそひと文字に詠みたい、泉水に傾く老松に泡雪が絡む風情。いい反省会だった。(石川)